

至急

地域の皆様と飯山高等学校をつなぐ

飯山高等学校特別公開教育講演会

「子どもとともに学ぶ」

主催 長野県飯山高等学校, 長野県飯山高等学校PTA

後援 長野県教育委員会, 飯山市教育委員会

聴講無料

どなたでも
聴講できます



山口 和士（やまぐち かずし） 1956年山形県生まれ。
教師、詩人、文芸評論家。教育研究会「日本進路指導推進協議会」会長。関東学院大学特任教授。群馬県立高崎東高等学校前校長。
公立高等学校での教育実践をもとに、筑波大学、青山学院大学等で大学の教職員に講演し、大学改革を提言。東京都公立高等学校進路指導研究会で10年前に講演し、公立高校復活の火をつけた人物としても知られている。また、厳しい体制にあった拠点伝統公立高等学校で進路指導を担当、例年国立現役大学合格120名程度であった状況を、就任後直ちに3学年生徒全員面談を実施し、一人ひとりに具体的な合格戦略を授け、たった1年で国立現役合格者が200名になるなど、驚異的な実績を残したことも知られている。管理職となった後も、日々校門に立って生徒に声かけし、挨拶を徹底させ、教頭面談、校長面談を勤務校の卒業生全員に実施。総合学科で国立現役合格者を卒業生数の6人に1人から4人の1人にまで伸長させた実績は、全国の新学科、総合学科の希望となった。最近では、新テストの作問試案を作成し、「高大接続システム改革委員」に提出するなど、次代の高等学校、大学改革にも優れた提言を行い、現場の視点を明確に活かした時代を牽引する強い姿勢を示し、全国に注目されている。

吉田 直史（よしだ なおし） 1959年 青森県八戸市生まれ。

駿台教育振興株式会社 部長。

駿台予備学校千葉校舎長、千葉地区統括責任者、仙台校舎長、東北地区統括責任者、東日本教育推進部統括（東日本営業責任者）、全国入試模試センター センター長を歴任。

全国での保護者・生徒を対象とした講演会、教員を対象とした入試研究会等を実施。ここ15年間の実績は、30都道府県・215校・のべ658回。駿台各部門でのデータ作成・模試問題作成・進学指導・中学高校営業等の経験から中学入試～大学入試システム・動向、入試問題分析等、講演の分野は多岐に渡る。長野県内高校（長野・松本深志・上田・諏訪清陵・野沢北・伊那北・飯田・須坂・屋代等）、各地区医学部志望者イベント、難関大学入試動向研究会、大学入試結果報告会等。

週刊誌でのコメント掲載：サンデー毎日（10/30号）、サンデー毎日臨増「志望校を決める！」（11月号）、週刊ダイヤモンド（11/19号）。



開会行事 13:00～13:10

第1部 講演会① 13:10～14:10

「夢を掴め！」－進路実現に必要なこと－

駿台教育振興株式会社 部長 吉田 直史 先生

第2部 講演会② 14:20～16:00

「親として子どもを成長させる10の条件」

－延べ38840回の個別面談から見たもの－

日本進路指導推進協議会 会長 山口 和士 先生

1月21日（土）

午後1時～

（開場午後12時30分）

飯山市文化交流館

「なちゅら」大ホール

急な連絡で恐縮ですが、万障お差し繰りの上、是非ご参加ください。「目から鱗が落ちる」こと請負です。ご家族、ご近所の方どなたでも聴講可能です。お誘いあってご参加ください。

《お問い合わせ》 長野県飯山高等学校 教頭 宮澤 典彦 長野県飯山市大字飯山 2610

電話：0269-62-4175 ファクシミリ：0269-81-1072 E-mail：iiyama-hs@pref.nagano.lg.jp

《ある高等学校での山口和士先生の講演会を聴講した保護者の感想》

講演会アンケートからの抜粋。(満足度はほぼ 100%)

- ・ 3年生の保護者として親も迷ったり悩んだりしていますが、この時期にとても勇気の湧く素晴らしいお話で、何度も涙ぐんでしまいました。本当に勇気を頂きました。(3年母)
- ・ お話、とても心に残りました。確かな実践に基づいているので納得できました。(2年父)
- ・ 丁度昨日も子供と衝突しました。どう声を掛けていいのか、気持ちが空回りして、子供と面と向かうとうまく言葉が出ません。そんな中での今日のお話はとても励みになり、勇気が出ました。子供の心の孤独を思うと涙が出ます。力になりたいと心から思いました。聴きに来て本当に良かったです。(1年母)
- ・ 先生の話をお聴きして、息子ともっと話そうと思いました。気持ちを、考えをぶつけ合ってお互いどう変わるかです。いろいろな意味で戦います。ありがとうございました。(3年父)
- ・ 「お母さん、明日講演会に行くの？ 行った方がいいよ！ かなりいい話だよ!!」 普段感動したことを言葉に出すことのない息子からの意外な言葉にとてもうれしく感激しました。(3年母)
- ・ 現在も自分は子供(高校生)のままだと感じました。年を取った子供と息子でこれから会話し、お互いに成長していけたらと思います。(2年保護者)
- ・ お話をお聞きすることができ、本当に良かったと思います。子どもは2年生ですが、ぜひ子どもにも聞かせたいと思いました。なかなか子どもとゆっくり話す時間がないですが、今日帰ってから話してみようと思います。またぜひ、お話をお聞きしたいと思います。ありがとうございました。(2年母)

《参考HP》

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/gunma/list/201606/CK2016060802000180.html>

http://berd.benesse.jp/berd/center/open/kou/view21/2004/04/01toku_09.html

<http://www.sundai-kofu.ed.jp/news2/3709/>

《会場》



飯山市大字飯山 1370-1

電話 0269-67-0311

ファクシミリ 0269-62-0054

隅研吾氏建築、平成 28 年 1 月 21 日竣工 (1 周年)

